

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所

【現地駐在】TTB 銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)

HD 銀行(ベトナム・ホーチミン)、明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



【大連支店】

大連のキャンプブームについて

1. はじめに

日本では YouTuber やお笑いタレントによるソロキャンプチャンネルやサバイバル企画ものの番組が注目を集めていますが、中国においても 2020 年頃から「密」を回避でき、自然の中で余暇を楽しむ事ができるキャンプブームが到来しています。私が住んでいる場所の近隣には、大連市民の憩いの場である労働公園という広大な公園があります。以前は散歩やジョギング、ラインダンス、バドミントン、将棋、釣り堀で釣りををする人々の姿が多く見受けられましたが、最近では、少し開けた木陰にテントを張り、その中でくつろいでいる人の姿も見かけるようになりました。また、夜になるとマンションの敷地内でバーベキューを楽しんでいる光景も目にするようになり、帰宅途中についつい混ざりたくなってしまうほどです。夏に差し掛かる季節でもあり、アウトドアへの関心の高さが窺えます。

そこで今回は、日本を席卷しているキャンプブームが大連ではどのような状況であるかをご紹介します。



大連労働公園の様子【筆者撮影】

2. 大連のキャンプ風景

中国語ではキャンプの事を「露營（ルーイン）」と言います。読んで字の如く、野外で陣営（テント）を張るという意味です。日本と同様にコロナ禍の影響もありますが、中国の動画サイトでキャンプをテーマとしたバラエティー番組「一起露營吧（一緒にキャンプへ行こう）」が今年の 4 月から配信されて、Z 世代（生まれた時からインターネットが普及している世代）を中心に益々キャンプブームに火が付いているようです。そのような番組の

効果もあり、中国ではソロキャンプよりも家族や友人同士、カップルといった同行者を伴ったキャンプが主流になっているようです。また、地図アプリで「露營（ルーイン）」と検索すると大連近郊だけでも 6 ヶ所ものキャンプ場が表示されます。あるキャンプ場では、コテージのような備え付けテントにベッドやソファなどが配備されており、手ぶらで宿泊する事ができます。

食事については日本と同様に焼肉等のバーベキューをしますが、餃子、北京ダック、パン、果物等、食卓に並ぶような食事をスーパー等で買って来る事もあるそうです。また、車の運転手はお酒を飲めないという事もあり、水、ジュース、牛乳といったアルコール類ではないものを飲む事が多いそうです。中国生活では必須である出前アプリ「外卖（ワイマイ）」等を利用し、配達してもらうといった中国ならではの光景も見受けられます。

大連のキャンプ場【筆者撮影】



3. 大連キャンプ用品における市場環境

中国ソーシャルサイトの「小紅書」が昨年発表した 5 月の連休の旅行に関するレポートによると、連休前の 3 日間に同サイトで「露營（ルーイン）」と検索された件数は、前年同月比 230%増加したそうです。また、中国国内の有名な旅行プラットフォーム「馬蜂窝」が発表したレポートによると、2021 年 1 月～2022 年 3 月の期間で「ドライブ旅行、キャンプ」と検索された件数は、前年同月比で 240%増加しました。中国のデータ分析機関である「iiMediaResearch」は、2022 年の中国におけるキャンプ用品市場規模は 354 億ドルで、前年比 18.6%の成長が見込まれると分析しています。これらのレポートからも、余暇の過ごし方のひとつとしてキャンプを選択する人が増加傾向にある事が窺えます。

こちらは、大連市内にあるアウ

スポーツ用品ショップの様子【筆者撮影】

トドアアイテムも取り扱うスポーツ用品ショップ「DECATHLON」の様子です。以前は店内に入ると、まず、スポーツ用品が並んでいましたが、現在は店内に入るとまず、広々としたキャンプ用品コーナーが設けられています。同コーナーでは、買い物客が展示用テントの



中に入ったり、折り畳み椅子に座ったり、ハンモックに横たわったりしており、店員は引っぱり無しに買い物客から声をかけられていました。また、鍋などの調理器具や寝袋、マット等、アイテム毎の品揃えも豊富で、調理用鍋のコーナーだけでも棚 3 つ分は並べられていました。

価格帯ですが、テントは 250～2,000 元（約 5,000～40,000 円）、寝袋は 100～1,000 元（約 2,000～20,000 円）と日本で販売されている価格と殆ど差は無いように感じました。



4. 中国での輸入・販売に関する規制

キャンプ用品に関連し、その中の一例として食器関連の中国における輸入・販売に関する規制を紹介させていただきます。中国側が食器を輸入する時は、「商品検査法」等により商品検査機関による検査検疫手続きを行う必要があります。検査検疫を受けていないものは、販売・使用が認められていません。材質（成分）に関する説明文書や原産地証明、衛生証明書等の提出が求められる事もあります。また、「食品安全法」等により、輸出業者と製造メーカーは中国に輸入される食器が中国の法律規定や食品安全の国家基準に適合している事を保証し、ラベル・説明書の内容に責任を負う必要もあります。輸入食器の新しい種類のものについては、中国の国務院衛生行政部門に安全性評価書類を提出しなければなりません。

中国国内市場で輸入食器を販売する時は、主に「食品安全法」に定める食品安全国家基準に基づいて行われます。食品に接触する材料および製品、添加剤、陶磁器製品、ガラス製品、プラスチック材料、塗料など約 60 項にも及ぶ専門国家基準があります。また、関税率は 8～24.5%、増値税率は一律 17%が課税されます。

これらは一般貿易で輸入・販売するケースですが、越境 EC 商品として取扱可能な 1,441 品目に該当する商品であれば、越境 EC のスキームを利用することで、輸入手続の簡素化や関税等の優遇を受ける事ができます。

5. 終わりに

大連支店では越境 EC に関する取組みも行っています。この度、2022 年 8 月に中国パートナーとして提携している「大連万衆雲倉」が、保税倉庫としては初めて即売即納が可能な展示センターをオープンさせる事となりました。この展示センターオープンに際し 8 月～10 月にかけて「山口県デー」「広島県デー」「岡山県デー」「愛媛県デー」「北九州市デー」と題したイベント開催を予定しています。例えば「山口県デー」では、瓦そばの作り方の実演や試食を行う等、それぞれの地域の産品や観光情報を広めることで、越境 EC 産品の購入やコロナ禍が収束した後の訪日観光に繋げる取組を行います。

山口フィナンシャルグループでは、これからの時代に有益な情報を、引続き海外からも提供していきたいと思えます。

展示センターの外観



展示館1階・2階レイアウト図



展示センターのレイアウト図

(山口銀行大連支店 池岡 慶了)

【参考文献】

- ・ balconia HP <http://www.balconia.cn/blog/20220513.html>
- ・ 36Kr Japan HP <http://36kr.jp/142637>
- ・ 日経 MJ 2022 年 7 月 8 日号
- ・ JETRO HP <https://www.jetro.go.jp/world/qa/04A-041134.html>